

「教科横断型授業を受けて」

2年4組 萩原 真夏

3月17日金曜日、大山校長先生、後藤先生、岩崎先生による教科横断型授業が行われました。

まずは大山校長先生から自己紹介や日本史にまつわる話、さらに戦争に関係した敵性語について授業をしてくださいました。大山校長先生は豊島高校で授業するのは初めてだそうです、私達2年生はとても貴重なお話を聞くことができましたと思います。

次に後藤先生から大山校長先生が触れていた敵性語についてより深く授業をして下さいました。印象に残ったのは『油揚げ肉饅頭』が今でいう『コロッケ』を意味する言葉ということです。この授業はクイズ形式で行われ、それぞれが答えを考え、楽しい授業となりました。

最後に岩崎先生から世界に広がる日本語について授業がありました。「mottainai」「kawaii」などから、柔道の父である嘉納治五郎先生が柔術から柔道、スポーツとしてのJUDOへと国際化して変わっていく流れを教えてくださいました。日本語が審判用語として「IPPON」「OSAEKOMI」など使われていることを知りました。さらに、岩崎先生が審判をし、柔道部の2人が実際の試合をする形で審判の様子を見せて頂きました。

この教科横断型授業は普段の授業と違った、新鮮でとても貴重な時間になりました。



敵性語ってたとえば・・・？

令和4年度
教科横断型授業

英語 和製英語の本来の意味

soccer  蹴球
volleyball  排球
skiing  雪滑
fork  肉刺

